竜の国の花嫁

鳴海圭
Kei Narumi

百の戦場を知る乙女は、
まだ一の恋を知らない——。

新鋭、会心の46ページ!

ワァァァァ
ひるむな――！
私について来い！
ワァ
アラヴール王国・第1王女
ニーナ・ボラスキア

うわあぁっ
大丈夫か？
あのっ、ニーナ姫
あなたと共に戦えること
光栄です！
そーゆーのは勝ってから言ってくれよ

ワァアアァ
ニーナ姫!!
素晴らしい戦いぶりでした
正に軍神
見事な勝利です!
だはは
やめてよはずかしーな
勝ったのはお前らの活躍あってこそだろ
頼りにしてるぞ
一生ついて行こう
じーーん
姫!伝令です!
何?父から急ぎの報せ?
読み上げろ
はっ

一の姫
ニーナ・ボラスキア
に命ずる

同盟国 ユーリー王国
王室への輿入れの
準備をせよ！

直ちに……

え？

ええええええええええ

何だ？

姫でありながら
軍将として戦地を
飛び回っていた私
ニーナ・ボラスキア
は
突然の
父王の命令により
遠い同盟国へと
嫁入りをさせられる
こととなった
えっ
えっ
アーラガール王国
NARUKEI SEA
FELLOWS SEA
ユーリー王国
OUBA BAY

ワァァァ
リンゴーン
ユーリー王国
第1王子
ミラ・アーサー

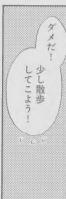
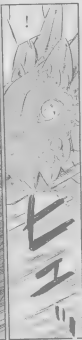
ナゼに!!?
WHY?!
戦地で輿入れの報せを聞いた私は
鎧を脱ぐ間もなくユーリー王国へ連れてこられ
父王が何故 私を嫁に出したのかの説明もなし
さあさあ
えっちょっ
そして現在に至る
あの…
大丈夫ですか?
具合でも悪いのですか?
大丈夫でなく見えるなら……
そうなのでしょう……
ゴッ
うう…

ほとんど戦地にいて
ドレスなんて着る
ことないからなあ……
なんてうっとうしい
服なんだ！
ぶわっさ
ぶわっさ
つんっ
ぶおっ
ズ
ガン
ムク…
いたた
つぅ
私なりに
国のため
父王のため
頑張ってきた
つもりだった
でも
本当は……

そんな私を疎んじていたのだろうか？

ド
ドラゴン!?
きゃあああっ
誰か来て！助けてえ！
通常（理想）の反応
主人公の場合
直ちに退治しないと!!
た……
神様ありがとう！
やったラッキー!!
退治していいよね!?
歓喜!!

ドゴ
!
ヒュッ
ギ
わははっ
よっしゃ!!
かかって来ーい!!
元軍将
まっ待ってくれニーナ!
したっ
へ?
危害を加えるつもりはないんだ!!
シュウウウ。。。

シュウウウウ
ぼ……
僕だ
フル
フル
フル
(←結婚相手)
はれ？
ミラ王子？
あのドラゴンは？
キョロ
キョロ
だから……
そのドラゴンが
僕
……
え？
……
……
えへ？
私のお楽
しみは？
え？
隠していて
すまなかった

この呪われた体のことは……

両親以外は知らないんだ…

バレたら花嫁の君に逃げられると思って……

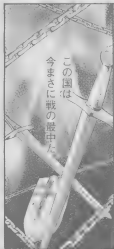
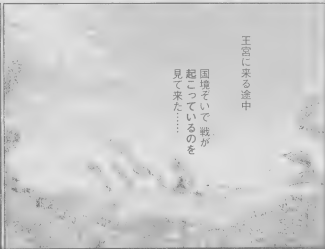
今までも何人も逃げて行ったし……

ふむ

王子はドラゴンに変身できるのですね!?

ドキドキワクワク

なんかすっごいワクワクしてる!?

父上母上に
人前に出ないよう
言われてるし……
何より
ドラゴンの姿を
見られて
怖がられ
嫌われるのが
こわい
んだ……
こわいって…
王宮に来る途中
国境ぞいで戦が
起こっているのを
見て来た……
この国は
今まさに戦の最中た

こいつが戦場に行くことで一体どれだけの自国の民が救われるか……
イラ…
あのなぁ…
私が出過ぎたことを言って王室の反感を買えば……
祖国の…
父の不利益になるんじゃないか…
ス…
王子
さっき……いつも花嫁に逃げられると言ってましたね
え？

安心して下さい
私は婚姻を反故にしたりしませんから
あなたの望むことなのでしょう
え
ドキ…
おやすみなさい
カッ
あ…
父上よこれが……

ザワ
ザワ
キャ
今日は
お招き下さり
有難うございます
まあ
もう私たちは
家族ですもの
当然じゃないの
ザワ
ザワ
ザワ

皆にもそなたのこと
紹介しなくては
ならんしな
ええ
……
あの…
国境の戦い…
戦況が思わしく
ないと伺いました
陛下はいつ戦地へ
お発ちに？
なんと
ぷっ
おかしなことを
言う！

ん？
わ…
笑ってる……？
戦地など
行く予定はないが？
ホホホ
でもあの…
陛下が行けば
兵士たちには心強いのではと……
(心の声)
民が戦地で血流して戦ってんのにパーティなんて開いてヘラヘラしてんじゃねーよ
指導者が死んではどうにもならないだろう
ははは
そんなことになったら
犬死にだ
ほほほほほ
ほほほほ
そうだろう？
ドッ
え
バクバク
ソ…ソウデスネ

ふんが!!
(自室です)
血文字
大死にって何だ
戦地で戦ってる
兵士たちの前で
ソレ言えんのか
バカ国王!!
でも……
何も
出来ない……

私は……
くそっ
こんな所で
何を……？

コ。
コ。
ニーナ様
お届け物で
ございます

うわあああっ!!
ちょっと待って!!
ゴン
ゴン

父からの手紙？

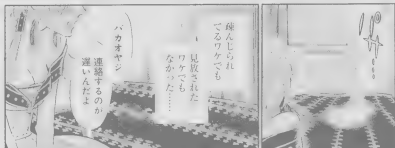
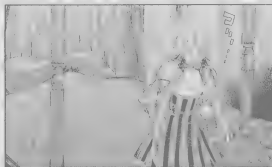
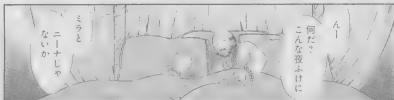
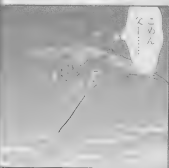
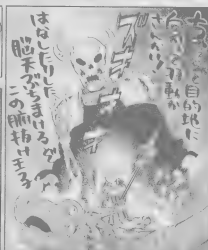
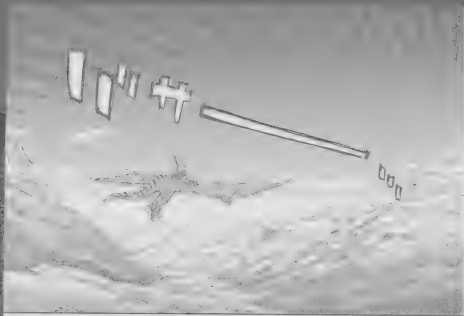
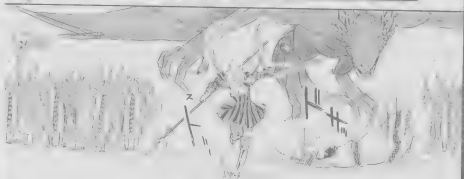
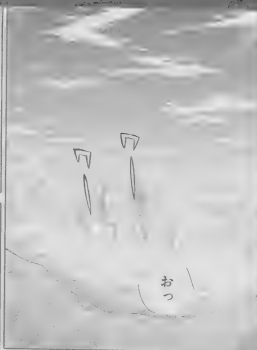
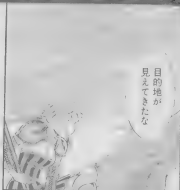
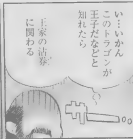
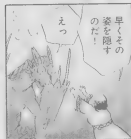
今ころ
何を……
カサ

記録魔法陣？
いて
ガリッ
これで再生されるハズ
ポタ
ポタ…
ポ
ウ
いや――！
はっはっはっ
わははは
ボ
ウ
わっ
すっかり連絡が遅くなってスマン
娘よ!!
ゆるせ!!

イキナリ大音量でしゃべんな
ドキ
ドキ
急な輿入れ驚いただろう
実はな…
ほんっとスマン！
ちょっと目の回りそうな忙しさでなっ
父さんも直前まで忘れてたんだよ！
わははは！
こ…
クソオヤジ
ところでユーリー国の状況は把握したか？
国王がひどいだろ
あんなんすぐに国が傾くぞ
うわわわわっ
誰かに聞かれたらどーすんだアンタ！
だからお前を送った

お前が
民のためなら
寝食惜しんで
働いちまう
タチだって
俺は知ってるぞ
俺に似て
少しムチャをする
クセがあるがな
！
俺の娘たちの中で
お前が一番
ガッツがあるからな
遠国とはいえ
同盟のユーリー王国が
傾くと勢力図が
崩れちまう……
でも
お前なら
そんな国でも
何とか出来る
だろ！
ただ普段通りに
するだけでな
頼りに
しているぞ

シュ
ン
疎んじられてるワケでも
見放されたワケでもなかった……
バカオヤジ
連絡するのが遅いんだよ
パサ…
あの人なりに認めてくれてた……
そうか……

私は……
好きに生きていいんだな
キィ……
ゴ……
ドス……
カチャ
カチャ…
ん？

ぱ
ちっ
うわっ
何だ
これぇっ
ガバ
ばっ
体のサイズに
合わせて
伸縮可能な
魔法の首輪よ
ヌオォォォ
ビクッ
素敵でしょう
ジャ
王・子・様♡
ラ
に
や
あ
な…
何？
ゴ
ゴゴ

んー
何だ?
こんな夜ふけに
ミラと
ニーナじゃ
ないか
え?
何だ?
うわ…
おい
何のつもりだ
おいっ
やっ
やめろ
おおお!!
わあああぁ

何のつもりだ
この不孝者!
コラ!
はなしなさい!
……
チラ。
はなしたりした
脳天ぶちまけるぞ
この腑抜け王子
鬼が見える…
こめん 父ー……

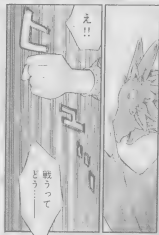
目的地が見えてきたな
ワー
ワー
おっ
戦場！
しかも最前線！
バッ
ザ
おいっ
何だありゃ!?

どよよ…
王? 国王が何故ここに?
それに何だあの竜は?
あてて… 一体どういうことだ お前たち!
ムク…
い…いかん このドラゴンが王子だなどと知れたら 王家の沽券に関わる
サー…
早くその姿を隠すのだ!
えっ
ズイ!
!
王よ
戦って下さい!
な…
何だと?

民が命がけで戦っているのに
あなたが一番に命をかけるべきだ
その王が命をかけないなんておかしい
そ…
そんなこと言ったって……
(敵兵)
ワァァァァァァ
……
こ…こんな所で戦っていたら
命がいくつあったって
ピューー
足りるワケないだろー!!

王が逃げたぞ
俺たちはどうすりゃいいんだ!?
ザワ
ど……
ザワザワ
オロ
どうしよう…
王子!
ヒョイ
ニーナ!?
戦うぞ
え!!
ビュ
戦うってどう……

火を噴け!
ズゴゴン!
へぶっ
ゴォオ
す…
すごい火力だ
お…
ウォー
ゴゴ
雲をあやつっているのか?
ゴ
ゴゴ

いて
ワー
ギャ
ワー
ワ
オォォォ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
おい！
あの女
見ろよ！
ゴ
ゴ
ゴ

祖国の戦では
敵が私の姿を
見ただけで
逃げ帰ったりも
したが……
ここでは
誰も私を
知らない
ようだ
だったら
手加減して
やらないとな！
ギギギーーンッ!!

ん？
何固まってんだ？
恐怖で固ってる。
コチーン
雷をあやつるのね
見ろよ！
敵が……
撤退していくぞ!!
ワーー！
俺たちの勝利……なのか!?
か……勝った
勝ったぞ
ワッ
俺たちの勝利だ
我が名はニーナ!!
ビクッ
びよっ

じきにこの国の王妃となる者だ!!
そして
ポーン
こいつがお前たちの王となる者だ
!!

サー
あの竜が王⁉
どよ
ということは王子なのか？
まさか
どよ
どよ
何を言っているんだあの女は
王子！人間の姿に戻って！
ええ!!?
むむむ無理だよっ
皆に正体を明かすなんて
そんなことしたら
僕……
皆に嫌われちゃう
……
イラ…
いいから言う通りにしないと……
え？
脳天にヤリ刺し込んで
ぶち込むぞ!!この腐れ王子が!!
ガッ
ザビン!
ええー!!
う……
うう……
ガタ
ガタ

!
ザワ!
おい あれっ
王子!?
ザワザワ
きっと
嫌われる
皆怖がってる
こんな僕が……
―子だなん……―
ぎゅう…
ク…
こ……

こんなに強い方々が
我々を導いて下さるのか!?
ワァ
え!?
ワァァァァ
びくっ
ワァァァ
え?
え?
ん〜〜〜……
のび〜っ
ぐぐ〜っ

ぷはーっ
ストレス発散した――!!
ばー
すっきり!!
え!?ストレス!?
まさか僕がこんなんだから
オロ
オロ
それがストレスに!?
う…
む…
……
ミラ王子ちょっと……
え?

……っっ
キュ
真っ赤!
まだ手も握ってないのに!!
何て破廉恥な!!
反応が乙女だなスマンスマン
でももう家族なんだからキスくらいいーじゃん
ははっはっ
夫婦だろ!
全然異性として意識されてない!?
ガーン!

顔上げて
堂々と
してろよっ
私のダンナ様
なんだろ?
これから
皆を幸せに
しようって時に
そんなオドオド
してちゃ
しょーがない

〝皆を幸せに〟なんて……
現実味のない言葉
だけど……
彼女が言うと
不可能じゃない気がした
かくして…——

軍神ニーナと
竜王ミラ
この奇妙な
夫婦のもとで
王国はかつてない
繁栄を迎える
のだが
それは
また
別の
お話
おしまい